

今日も「一丁あがり」

第14話

鉄製の鎮圧ローラーの接続カブラを修理するついでにあっちもこっちも使いやすく改造せよ!の巻



高垣達郎 (たかがき・たつろう)
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株ロボストス代表取締役社長。

ロボストスがこれまでに蓄積してきた経験から最適な修理方法と工程を決めて図面を描き、必要な部品を揃えます。加工屋さんにはそれぞれ得意な加工技術がありますし、僕にもこだわりがあります。何をどこに依頼するのか、そのマッチングが肝心要! そうすることで農業機械に

関する特殊な知識を要求することなく、加工屋さんそれぞれの負担を最小に抑えながら、製造クオリティを高く保てるというわけです。まだ勉強中の身ですが、このスタイルを突き詰めれば、全国各地の気の利く鉄工所のオヤジさんたちが高齢で引退していくことを皆さんが不安に思わずに済むはずです。僕たちが次世代にノウハウを継承しますので!! 連載2年目は仕事だけでなく、業界への提案も含めて自分の考えを伝えていきたいと思っています。ということ、今日も一丁あがり~~~~

に改造した件です。ついでに「ロー

ラーの溶接が割れて磨耗している箇所を修理してほしい」「後転防止の機能を追加してほしい」「台車のキャスターがうまく動かないから改良してくれ」と欲張りな注文(笑)。OK牧場! 全部お任せください!!

【今回の作業はコチラ】

- ①元のリンク部分をきれいに剥ぎ取り、オートヒッチスカブラに接続するための部品を設計。製作した部品をフレームに溶接する。
- ②ローラーの不具合部分を確認。ローラーの回転精度をそれほど重

視していない造りなので、シャフ

トの通りを調整しつつ、新しいフランジをはめて溶接、シンプルかつ頑丈に修復する。

- ③ヒッチで引っかける際に前傾姿勢にしたいので、角度調整できるようにパイプに穴を複数開ける。
- ④後転防止用のチェーンとピンを溶接し、元々使われていたスパーサーをピン置きに再利用。水や埃がた

- まらないうちは半分ずらす。
- ⑤溶接された小さすぎて潰れたキャスターを耐荷重の大きいキャスターに取り換え、ボルトで固定。

皆さん、こんにちは! 素晴らしいアニメ映画の数々に触れて心機一転、仕事に没頭しているロボストス高垣でございます。昨年12月で33歳になりました。最近少し気持ちが萎えてたんですけど、さまざまな業界で同世代が頭角を現しています。アパレルでもエンタメでも、それまでの「業界の常識」を覆すようなダイナミックな仕事をする方々がいて、やっぱり皆さん死ぬほど働いていて……。他人が作ったアニメ作品に励まされてる場合じゃなくて、僕は現場に出なあかんのですよ!! 鉄を削り土を触り、寝る間を惜しんで現場の声を聞いてきなさい!! ということで、今月は鎮圧ローラーをカスタマイズしてみましょう!

既製品よりグレードアップ!?

紹介するのは、麦踏みで活躍する鉄製の鎮圧ローラー「マツモト2100-2」をトラクターの「オートヒッチスカブラに接続できるよう

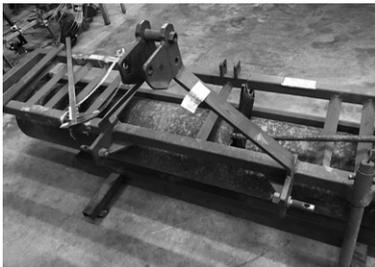


写真1: マツモト鎮圧ローラー2100-2。3点リンク部分を剥ぎ取り、サイズを変えて作り直す



写真2: (右) 溶接部分から割れて磨耗した鉄製ローラー、(左) シンプルかつ頑丈に修復した鉄製ローラー



写真3: 転倒防止チェーン&ピンと傾斜調整穴、キャスターを新調



写真4: カスタマイズ完了! (今回、塗装はお客様が担当しました)